

地球温暖化対策計画に記載した事項の実施状況

実施期間		令和 5 年度						
温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容		照明器具のLED+人感センサー化 パッケージエアコン温度設定見直し、発停スケジュール見直し						
温室効果ガスの排出の抑制の量の削減実績	温室効果ガスの吸収等	区 分			実施年度（令和 5 年度） 二酸化炭素換算(t)			
		☐ 森林の整備等			t-CO ₂			
		☐ 経済的手法の活用			t-CO ₂			
		グリーン電力証書の購入			t-CO ₂			
		グリーン熱証書の購入			t-CO ₂			
		オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂			
		国内クレジットの購入			t-CO ₂			
		J-クレジットの購入			t-CO ₂			
		非化石証書の購入			t-CO ₂			
		合 計			① t-CO ₂			
	温室効果ガスの排出の抑制	区 分	基準年度 (令和 2 年度)	目標年度 (令和 5 年度)	対基準 年度比 (%)	実施年度 (令和 5 年度)	対基準 年度比 (%)	
		温室効果ガス 排出量	(二酸化炭素換算(t))② 34,054 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 39,384 t-CO ₂	115.7	(二酸化炭素換算(t))③ 37,604 t-CO ₂	110.4	
		☐ 差引排出量 A	(二酸化炭素換算(t))② 34,054 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t)) 39,384 t-CO ₂	115.7	(二酸化炭素換算(t))③-① 37,604 t-CO ₂	110.4	
		☒ 原単位排出量 A/B	0.112 t-CO ₂ /m ²	0.108 t-CO ₂ /m ²	96.4	0.131 t-CO ₂ /m ²	117.0	
		温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B	303883 m ² (補正延床面積)	362988 m ² (補正延床面積)	119.4	286529 m ² (補正延床面積)	94.3	
排出量等の増減理由		温室効果ガス排出量は想定値以下に抑制することができたが、原単位分母の「温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値 B」に労務数を含むため、働きかた改革や業務効率化により労務数が減少したためBの値が減少したことにより目標達成することが出来なかった。						
特記事項								

(注)

1「基準年度」欄及び「目標年度」欄には、地球温暖化対策計画書（当該計画書を変更した場合にあっては、変更後の地球温暖化対策計画書）に記入した数値を転記すること。

2「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施したときは該当する□にレ印を記入し、「二酸化炭素換算(t)」欄に値を記入すること。

3「増減理由」欄については、実施年度の数値が基準年度の数値よりも増加・減少した理由（計画期間の最終年度に係る報告にあっては、削減目標が達成できた・達成できなかった理由を含む。）を記入すること。

4「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等のために実施した措置の内容」欄に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組んだこと等を記入すること。